

第35回全国小学生陸上競技交流大会

スタート特訓実り 全国6位に輝く！

佐々木 悠希^{ゆうき}さん 土淵小5年

8月10日、横浜市の日産スタジアムで同大会が開かれ、佐々木さんが5年男子100mに出場。予選上位8人で優勝を争うA決勝に進出し、全国6位入賞(記録13秒57)に輝きました。

佐々木さんは、6月に行われた県大会後、スタートを重点的に練習。日本代表選手の映像を研究し、自分で考えたメニューで調整を重ねました。

全国大会前には、自己ベストを大きく更新する13秒45を記録。勢いそのままに、全国大会予選で自己新をさらに縮める13秒43をたたき出しました。

佐々木さんは「全国6位はうれしいけれど、メダルがもらえる3位まであと0.1~2秒。全国の表彰台に立つためにスタート直後の体勢を改善しています」とさらなる高みを目指します。



第67回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会

四姉弟で災害対策研究 文部科学大臣賞を受賞

菊池 音羽^{おとほ}さん 不来方高2年(宮守町鱒沢)

全国大会は8月1、2日、兵庫県姫路市文化センターで開催。菊池さんが、ホームプロジェクトの部に出場し、全国最高賞に当たる文部科学大臣賞を受賞しました。同賞の受賞は同校初の快挙です。

菊池さんは、「菊池家災害対策本部」~四姉弟で災害を切り抜ける!~の題目で、家庭でできる災害対策について発表。大人に頼らずに、災害時のさまざまな状況や家族の身体的な状況を整理して、きょうだいでできることを改めて見直した内容が高く評価されました。

発表内容は、妹と二人の弟と協力

して約1年間研究。防災グッズの見直しや即席スリッパ・かっぱ作り、非常食作り、ハンディキャップを持つ祖母の避難などを盛り込み、災害対策の重要性を伝えました。

菊池さんは「受賞は協力してくれた人たちのおかげ。皆さんが防災や障がいを考え直すきっかけになってほしい」と思いを込めました。

協力して災害対策に取り組んだ4きょうだい / 左から 叶夢くん(遠野西中2)、音羽さん、愛理さん(花巻南高1)、星那くん(鱒沢小6)



- ### 各種表彰
- ※敬称略
- ◆第14回市内小学校水泳記録会(7月30日、市民プール) ※優勝者のみ
- 男子
- ▽共通100m平泳ぎ 千葉蒼太(宮守6) 1分55秒90
 - ▽共通100m自由形 菊池結飛(青笹6) 1分30秒11
 - ▽5年25mバタフライ 佐々木悠希(土淵) 18秒65(大会新)
 - ▽6年25mバタフライ 菊池陽頼(遠野北) 21秒41
 - ▽4年以下25m背泳ぎ 菊池崇伍(遠野北) 22秒62(大会新)
 - ▽5年50m背泳ぎ 百濟眞裕(達首部) 52秒08
 - ▽6年50m背泳ぎ 高成丸龍(小友) 50秒94
 - ▽4年以下25m平泳ぎ 岩崎翔琉(遠野) 25秒00(大会新)
 - ▽共通100m個人メドレー 佐々木悠希(土淵5) 1分38秒74
 - ▽5年50m平泳ぎ 多田航輔(鱒沢) 55秒26
 - ▽6年50m平泳ぎ 千葉蒼太(宮守) 55秒85
 - ▽共通50mバタフライ 及川汰篤(小友6) 42秒95
 - ▽5年50m自由形 佐々木悠希(土淵) 35秒68(大会新)
 - ▽6年50m自由形 及川汰篤(小友) 39秒88
 - ▽4年以下25m自由形 岩崎翔琉(遠野) 21秒29
 - ▽共通4×25mメドレーリレー 遠野北(小原千慧・佐藤来樹・菊池陽頼・小笠原瑞起) 1分30秒39
 - ▽共通4×50mリレー 土淵(中村流唯・吉田倅晟・立花直太郎・佐々木悠希) 2分58秒38
- 女子
- ▽共通100m平泳ぎ 小笠原莉緒(青笹6) 1分55秒22
 - ▽共通100m自由形 藤原楓(綾織6) 1分

第101回全国高等学校野球選手権岩手大会

攻守にわたり躍動 2年連続県頂点に

酒井 直也^{なおや}さん 花巻東高2年(遠野東中出身)



同校初の2年連続甲子園出場を懸けた同大会で、酒井さんは遊撃手(ショート)として全試合フルイニング出場。自慢の堅守と、巧みな打撃で優勝に大きく貢献しました。

ショートは守備のリズムを生み出す大事なポジション。全体練習後に繰り返し捕球を練習。大会を通してノーエラーと、守備からチームに流れを引き寄

せ、打撃でも準決勝で試合を決める勝ち越し打を打ち存在感を示しました。

3年生が引退し、チームは次のステージへ。酒井さんは「甲子園はケガの影響で満足にプレーできなかった。強みの守備を強化しながら、勝負強い打撃を意識して、春と夏はチームで日本一を目指します」と力を込め、練習に汗を流しています。



1_ 仲間に向け懸命に声援を送る児童
2_ ゴールまであと少し。がんばれ~!